

令和元年度 校長経営戦略支援予算【加算配付】配付申請書(選定校記載用)

(校園コード 661450 )

※校園コードを入力してください。

学校名 東小橋小学校

※学校名は校園コードを入力すると自動で表記されます。

1 配付額 200,000 円

2 自校の現状・課題(※小・中学校においては、学力課題に限定)

平成30年度の全国学力学習状況調査では、平均正答率を全国平均と比較すると、国語Aは10.7ポイント、国語Bは8.7ポイント、算数Bは7.5ポイント、理科は9.3ポイント下回っている。しかし、算数Aについては、全国平均を2.5ポイント、市平均を4ポイント上回っている。結果の考察として、国語はもとより算数においても読み取ることが大切であると認識した。読むことの領域の正答率が極端に低いので、読み取る力をつけるための読書の質と量を増やすと共に授業展開を研究し、学力向上を図る必要がある。

3 年度目標(※小・中学校においては、学力向上の目標を記載すること)

小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる

目標に対する達成状況(取組完了時)

達成

※決算報告時に記載

4 年度目標達成に向けた取組内容(予算反映するもののみ記載)

取組内容① 【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上の取組】

○学習過程を質的に改善し、「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業を進める。

取組内容②

○学年に応じた家庭学習の時間を設定し、学校で学んだことを家庭において定着できるように自らすすんで学習できる子どもを育成する。

5 年度目標に応じた事業効果を測る指標(期待する効果等)

指標・学校生活アンケートの①「勉強をがんばっている」、②「国語や算数の学習で登場人物の気持ちを読み取ったり、問題の解き方を考えたりしている。」③「漢字や計算を練習して、できるようになってきている。」、④「音楽や体育などいろいろなことに挑戦できるようになっている。」の肯定的回答を全て 85%以上にする。

指標に対する達成状況(取組完了時)

達成

※決算報告時に記載

※事業効果は必ず数値目標を設定のうえ、進捗状況を測ることができる内容としてください。

6 年間スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
取組み	購入手続き				集団読書指導				
効果検証	■ ↑ 読解力調査	■	■	■	■	■ ↑ 経年調査	■ ↑ 感想発表会	■	■ ↑ 読解力調査

【裏面に続く⇒】

取組

1

(校 園 コー ド 661450 )  
学 校 名 東小橋小学校

## 7. 取組内容・予算内訳

(1)取組内容【施策番号 施策名】		委員会使用欄	達成
<b>【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上の取組】</b> 各学年に応じた図書を選定し、学級の全員が同じ本を同時に読み進めていく中で、読書カードを活用し子ども一人ひとりの感想の豊かさや読み取りの力を育成する。また、読書発表会を全校で実施しプレゼンテーション能力の育成を図る。			
<b>予算内訳</b> <b>図書購入(11-1 消耗品費)</b> 1年 贈る詩 @1,700×18=30,600 2年 しゃべる詩 遊ぶ詩 聞こえる詩 @2,080×23=47,840 3年 チョコレート戦争 @1,130×31=35,030 4年 火曜日のごちそうはヒキガエル @1,040×33=34,320 5年 気まぐれロボット @1,130×31=35,030 6年 5分後に意外な結末 ベストセレクション @ 570×30=17,100			
<b>期待される効果</b> 読むことの領域の正答率が極端に低いので、読み取る力をつけるための読書の質と量を増やすと共に授業展開を研究し、学力向上を図ることにより、学校生活アンケートの①「勉強をがんばっている」、②「国語や算数の学習で登場人物の気持ちを読み取ったり、問題の解き方を考えたりしている。」③「漢字や計算を練習して、できるようになってきている。」、④「音楽や体育などいろいろなことに挑戦できるようになっている。」の肯定的回答を全て85%以上にする。			

## (1)取組内容に対する実施スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
取組み	購入手続き				集団読書指導				
効果検証	■ ↑ 読解力調査		■	■	■	■	■ ↑ 経年調査	■ ↑ 感想発表会	■ ↑ 読解力調査

## (1)取組内容に対する中間報告

- ☐ スケジュールどおり実施できている。  
☒ スケジュールにやや遅れがあるが、取組は予定どおり実施できる見込みである。  
☐ スケジュールに大幅な遅れが出ている。(□他責・□自責)

[大幅な遅れがある場合]理由及び対処方法(年度末到達目標の修正など)

## (1)取組内容に対する決算内訳

決算内訳
※決算報告時に記載

※取組内容はPDCAサイクルを意識して設定してください。委員会使用欄は空欄としてください。





